

高知FD小学生に指導

土佐塾学園30周年記念グラウンドで



FDの選手(右)から捕球の姿勢について指導を受ける子どもたち(高知市で)

高知市の学校法人土佐塾学園の創立30周年記念グラウンドで、四国アイランドリーグplus・高知ファイティングドッグス(FD)の選手が小学生に指導する野球教室が開かれた。

同グラウンドは、同学園が記念事業で同市春野町内ノ谷に整備し、昨年9月に完成。3日は、卒業生がかつての仲間や教員らとの交流を図る「ホームカミングデー」の一環として、天然芝の野球場を小学生に開放した。

小学生の約30人が参加、

FDの選手ら4人から「フライボールを捕るときは、落下地点までグラブを出さない」などと捕球の仕方やボールの持ち方などについて教えてもらった。

FDの安藤優作選手は「毎日バットを振るなど野球に関わればどんどんうまくなると思う。頑張ってください」と激励していた。